

[佳 作]

「北方領土問題について」

日高町立日高中学校

3年 佐々木 里咲

みなさんは、何故北方領土が今になっても日本に返還されないのか考えたことがありますか？私自身、今まで特に意識して北方領土の問題を考えたことがありませんでした。根拠もなく、そのうち返還されるのではないかと軽い気持ちで考えていました。

でも、ある時テレビで北方領土を取り上げた番組を見て歴史や現状について知り、関心を持つようになって自分でも調べてみました。

江戸時代初期に日本は北方四島の存在を知り、多くの日本人がこの地域に渡るとともに、徐々にこれらの島を統治していきました。もちろん北方領土の先住民がアイヌの人たちであるということも忘れてはいけません。1855年、日本とロシアの間で平和的・友好的に「日露和親条約」が成立しました。しかし、第二次世界大戦末期の1945年8月9日、当時のソ連はまだ有効であった「日ソ中立条約」に違反して突如、対日参戦し日本がポツダム宣言を受諾した後、北方四島のすべてを占領してしまいました。当時、四島全体で日本人は約1万7千人も住んでいましたが、ソ連は一方的に自国領に「編入」し、強制退去させました。それ以降、今日に至るまでソ連、つまりロシアによる不法占拠が続いているのです。

それに対し、日本は、北方領土は日本固有の領土であると強く主張しています。アメリカ政府も一貫して日本の立場を支持しています。

日本政府は、北方領土問題へ国民が関心と理解を深めるために「日露和親条約」が調印された2月7日を「北方領土の日」と制定し、アピールし続けています。

では、北方領土問題はどうか解決すべきなのか考えてみました。今もまだ、日本とロシアとの「平和条約」が結ばれていません。私は日本とロシアの関係をよりよくするためにも一刻も早く「平和条約」を結ぶべきだと思います。そのためには、日本国民全員が声を大にして締結に向けた交渉を進めるよう日本政府を後押しすべきです。私たち、特に若い世代が北方領土問題に関心を持ち、強い意志を持てば、きっと北方領土は日本に戻ってくると信じています。